

令和5年における交通事故 の発生状況について

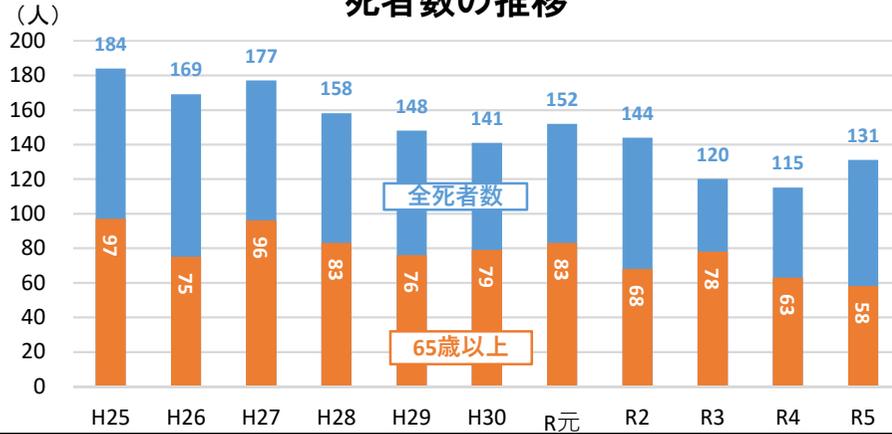
令和6年4月25日
交通企画課事故分析係

(注) ・ 数値は、単位未満で四捨五入してあるため、合計等が内訳の数値と一致しない場合がある。

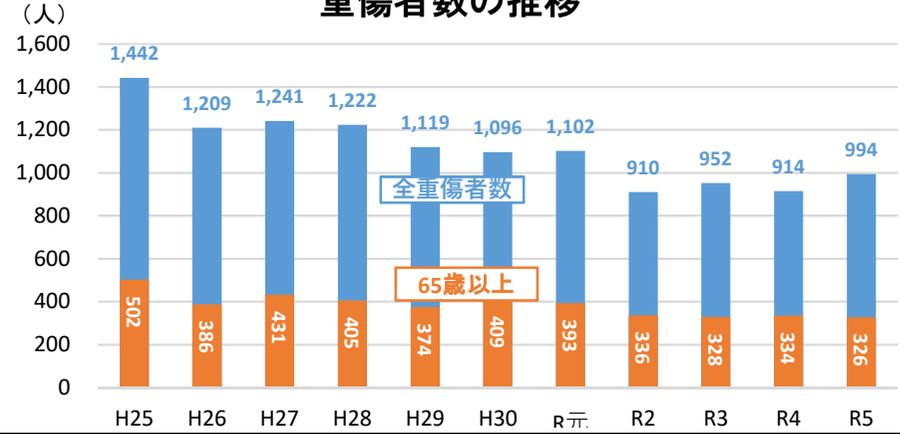
1 交通事故死者数・重傷者数の推移

- 死者数は131人で、前年比16人、13.9%増(前年比増となるのは平成30年以来4年ぶり)
- 重傷者数は994人で、前年比80人、8.8%増(前年比増となるのは令和3年以来2年ぶり)

死者数の推移



重傷者数の推移

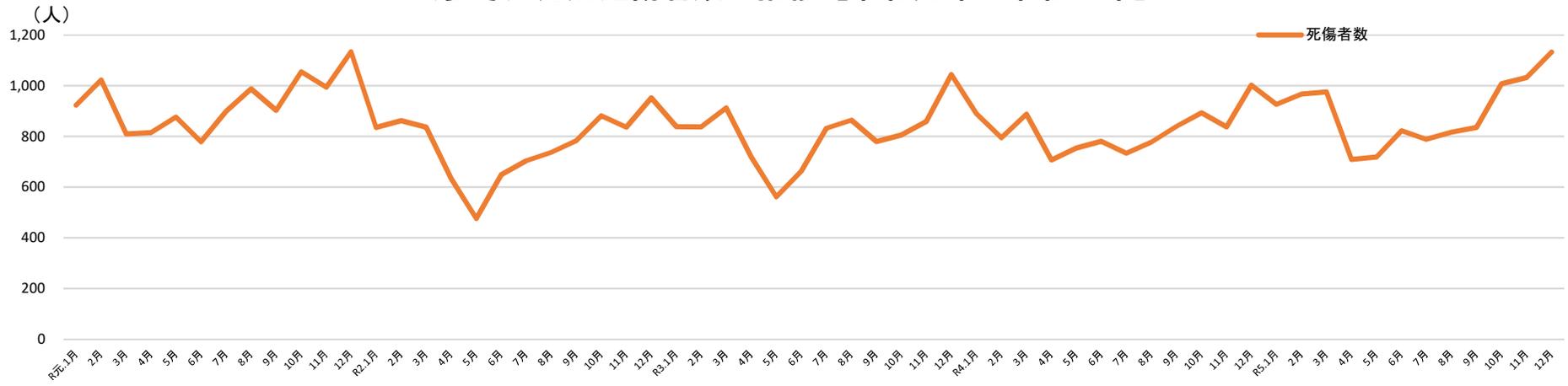


高齢者の割合	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5
高齢者の割合	52.7%	44.4%	54.2%	52.5%	51.4%	56.0%	54.6%	47.2%	65.0%	54.8%	44.3%
【参考】											
高齢者の人口(千人)	1,432	1,462	1,514	1,555	1,589	1,615	1,640	1,656	1,668	1,674	1,670
全人口に占める割合	26.3%	26.9%	28.0%	28.9%	29.7%	30.4%	31.1%	31.7%	32.1%	32.3%	32.5%

高齢者の割合	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5
高齢者の割合	34.8%	31.9%	34.7%	33.1%	33.4%	37.3%	35.7%	36.9%	34.5%	36.5%	32.8%

(注)・人口は、総務省統計資料「人口推計」(各年10月1日現在人口(補間補正を行っていないもの。ただし、国勢調査実施年は国勢調査人口(不詳補充値)による。))による。以下同じ。

〈参考〉月別死傷者数の推移【令和元年～令和5年】

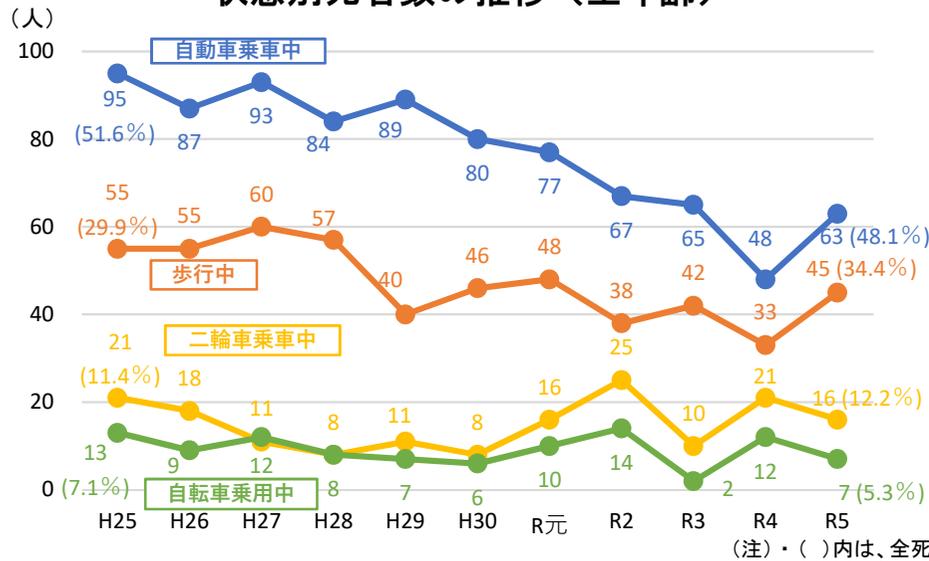


死傷者数	R元1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R2.1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3.1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R4.1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5.1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
死傷者数	923	1,023	810	815	876	779	899	987	903	1,055	994	1,134	836	862	837	633	476	649	704	737	783	881	837	952	839	838	913	719	562	663	832	864	780	805	859	1,044	890	795	888	707	754	781	734	778	840	893	838	1,002	926	967	976	709	719	823	788	816	835	1,008	1,032	1,133

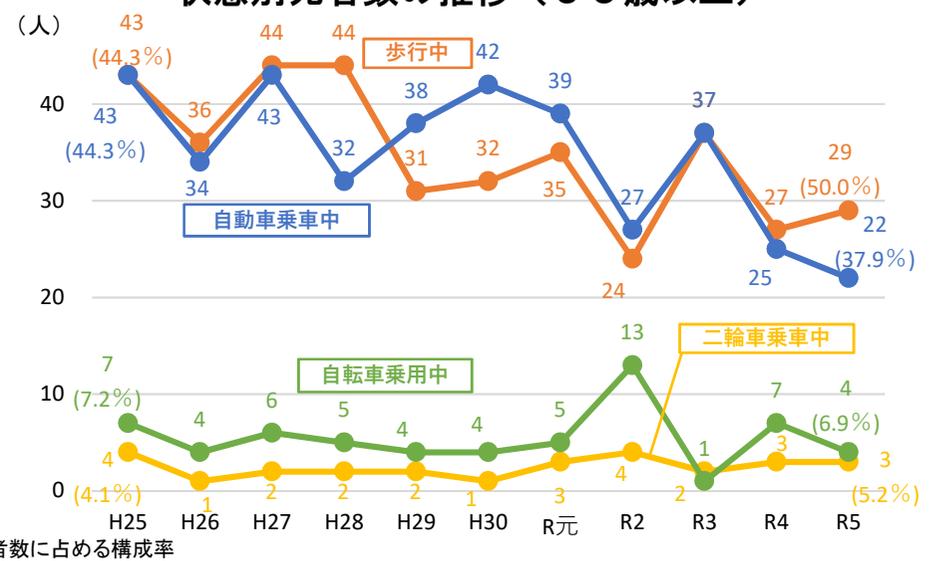
1-2 交通事故死者数・重傷者数の推移

- 状態別死者数は全年齢で、「自動車乗車中」、「歩行中」は増加、「二輪車乗車中」、「自転車乗用中」は減少
- 状態別死者数は全年齢は「自動車乗車中」、65歳以上は「歩行中」が最も多い

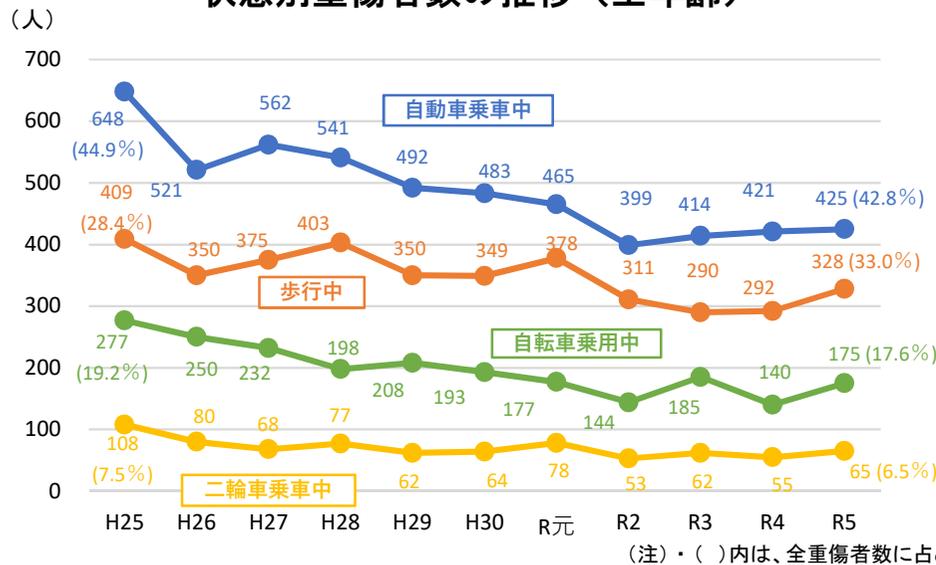
状態別死者数の推移（全年齢）



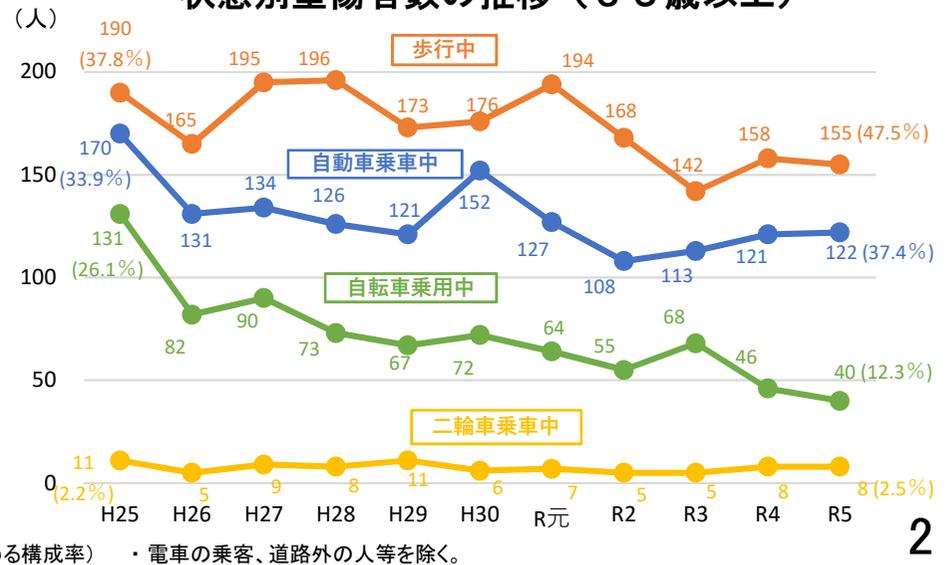
状態別死者数の推移（65歳以上）



状態別重傷者数の推移（全年齢）



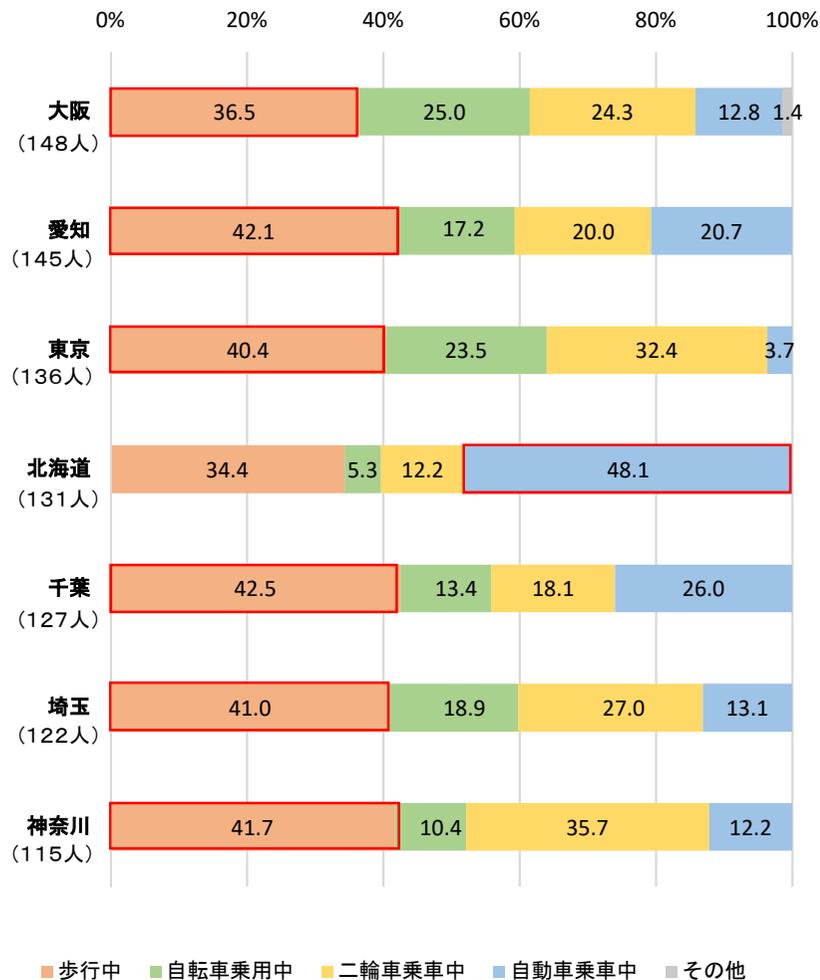
状態別重傷者数の推移（65歳以上）



1-3 交通事故死者数の推移

- 北海道は他県と比較して死者数に占める「自動車乗車中」の割合が高い
- 北海道は人口10万人当たりの死者数は、上位7都道府県の中で最も多い

都道府県別死者数の構成率比較
【2023年】



都道府県別65歳以上歩行中死者数比較
【2023年】

	大阪	愛知	東京	北海道	千葉	埼玉	神奈川
死者数(人)	148	145	136	131	127	122	115
うち65歳以上死者数(人)	81	70	47	58	69	67	49
構成率(%)	54.7%	48.3%	34.6%	44.3%	54.3%	54.9%	42.6%
うち歩行中死者数(人)	40	41	25	29	36	36	33
構成率(%)	49.4%	58.6%	53.2%	50.0%	52.2%	53.7%	67.3%

都道府県別人口10万人当たり死者数比較
【2023年】

	大阪	愛知	東京	北海道	千葉	埼玉	神奈川
人口10万人当たり死者数(人)	1.69	1.93	0.97	2.55	2.03	1.66	1.25

〈参考〉都道府県別人口10万人当たり死者数【2023年】

上位5都府県（少ない順）

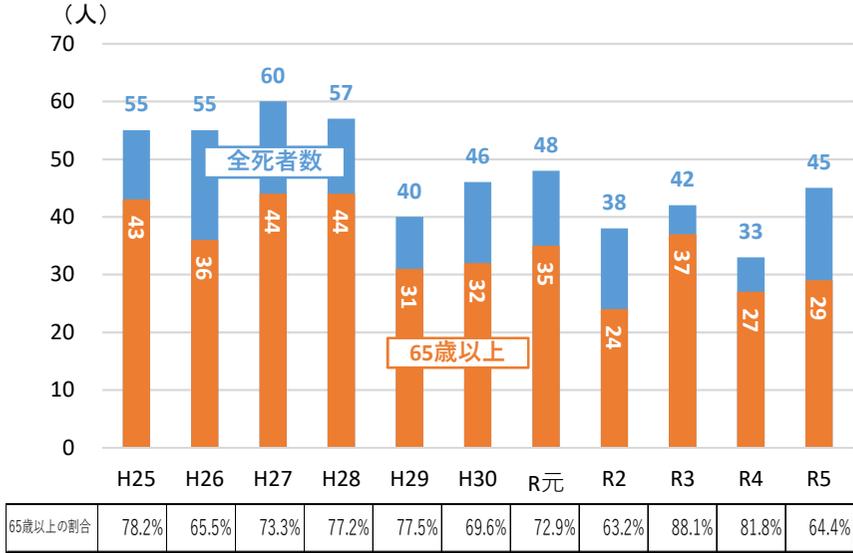
	1位	2位	3位	4位	5位	18位
都道府県名	東京	神奈川	佐賀	埼玉	大阪	北海道
人口10万人当たり死者数(人)	0.97	1.25	1.62	1.66	1.69	2.55

(注)・算出に用いた人口は、総務省統計資料「人口統計」(令和4年10月1日現在)による。

2 歩行中死者数の状況

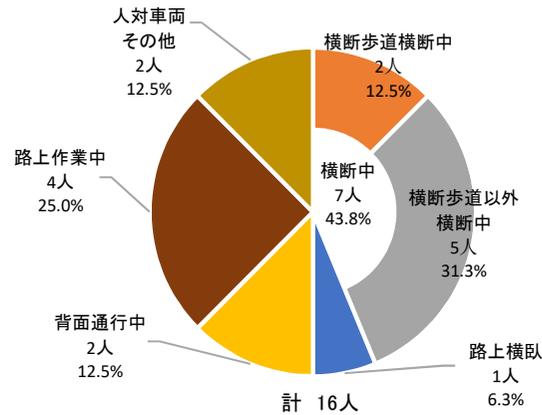
- 歩行中死者数は2年振りに増加(うち6割以上が65歳以上)
- 事故類型別では、65歳未満、65歳以上ともに「横断歩道以外横断中」が多い。

年齢層別歩行中死者数の推移

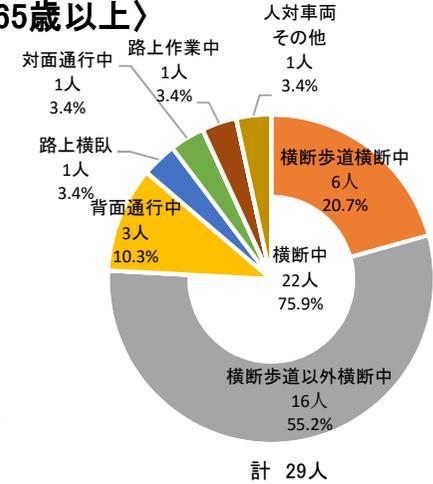


年齢層別事故類型別歩行中死者数【令和5年】

〈65歳未満〉

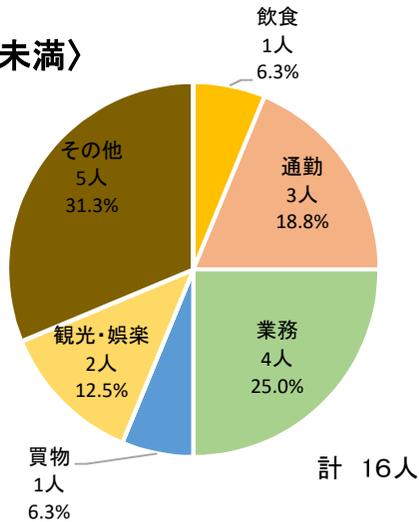


〈65歳以上〉

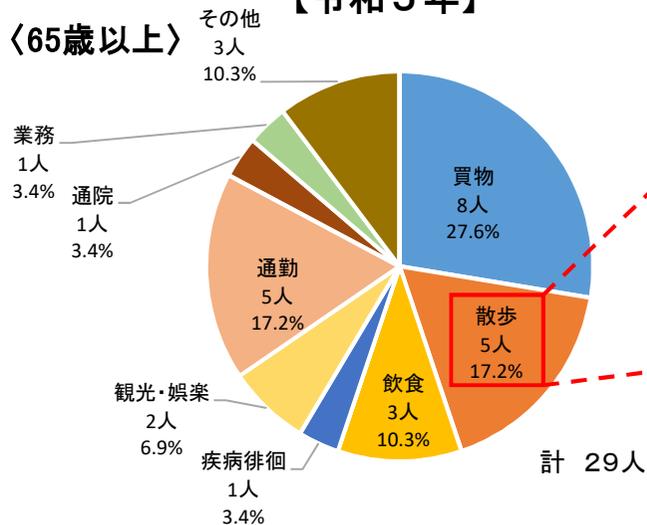


年齢層別通行目的別歩行中死者数【令和5年】

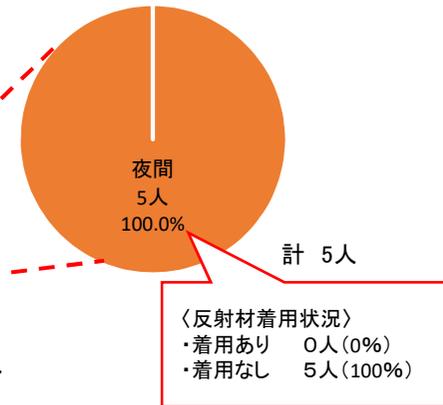
〈65歳未満〉



〈65歳以上〉



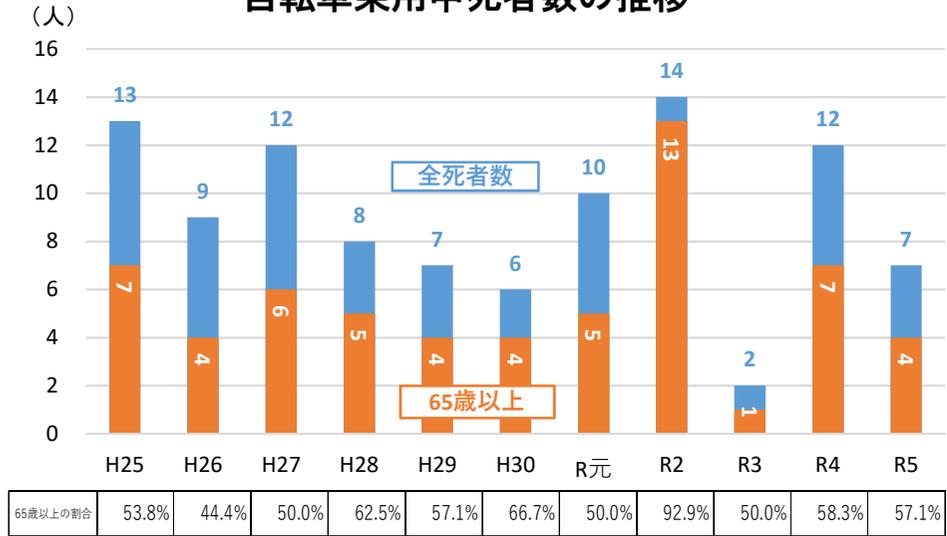
〈「散歩」の昼夜内訳〉



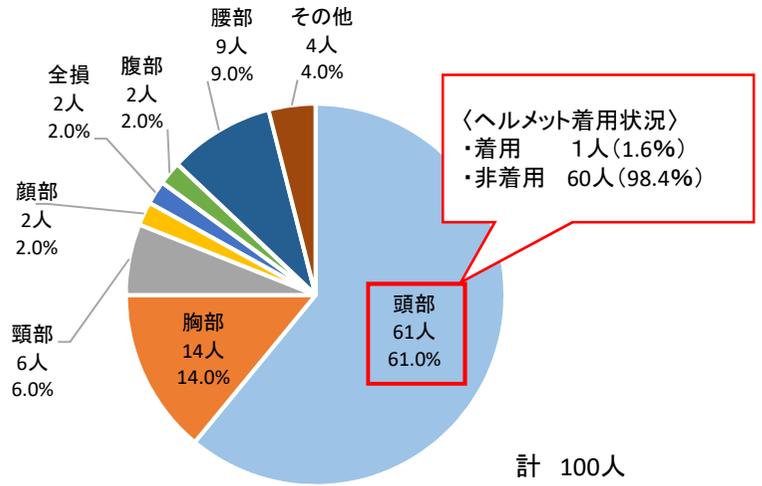
3 自転車関連交通事故の状況

- 自転車乗用中死者の7割以上がヘルメット非着用
- 令和5年中の北海道のヘルメット着用率は8.3%

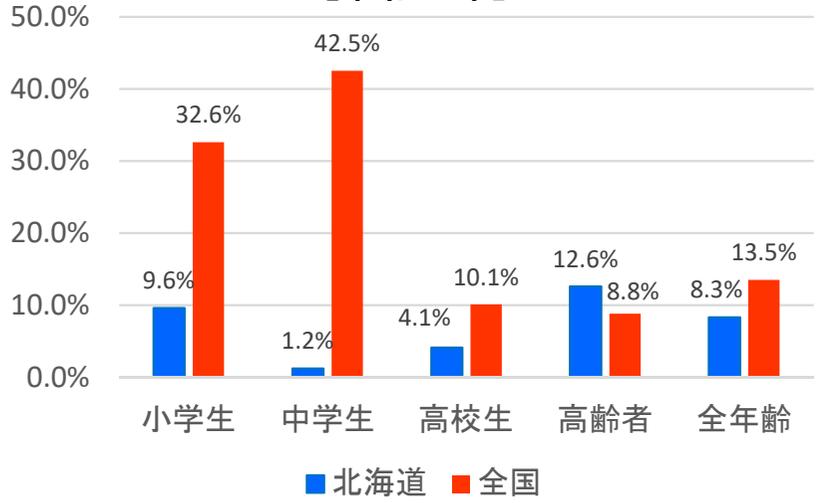
自転車乗用中死者数の推移



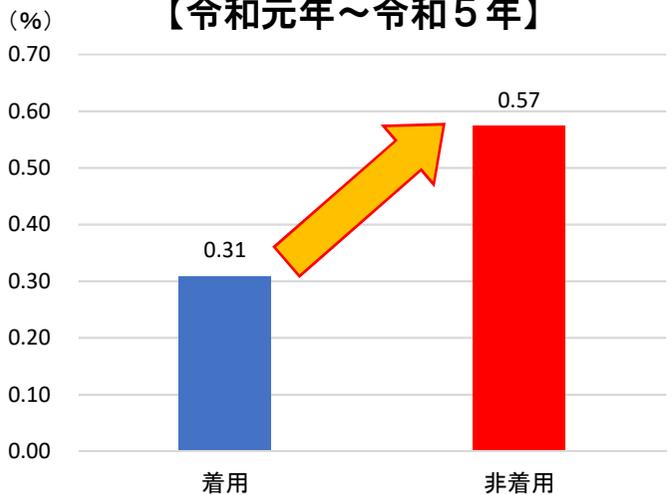
自転車乗用中における人身損傷主部位別死者数【平成25年～令和5年】



北海道と全国のヘルメット着用率の比較【令和5年】



ヘルメット着用状況別の致死率比較【令和元年～令和5年】

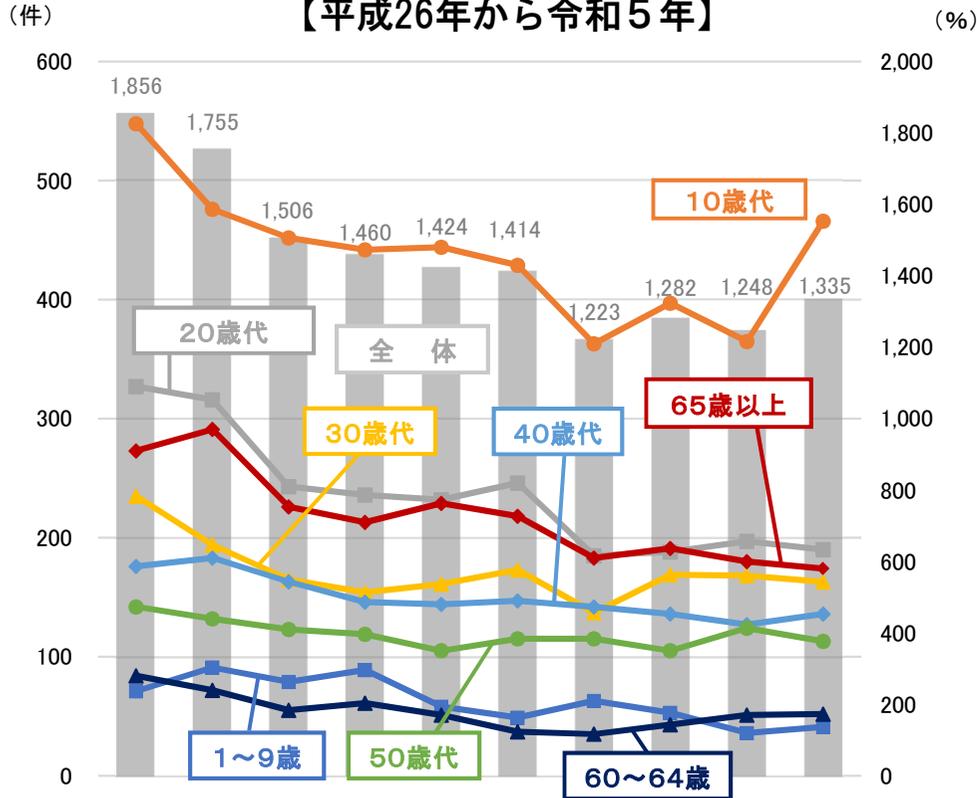


(注) ・「致死率」とは、死傷者のうち死者の占める割合をいう。
 ・警察庁資料による。

3-2 自転車関連交通事故の状況

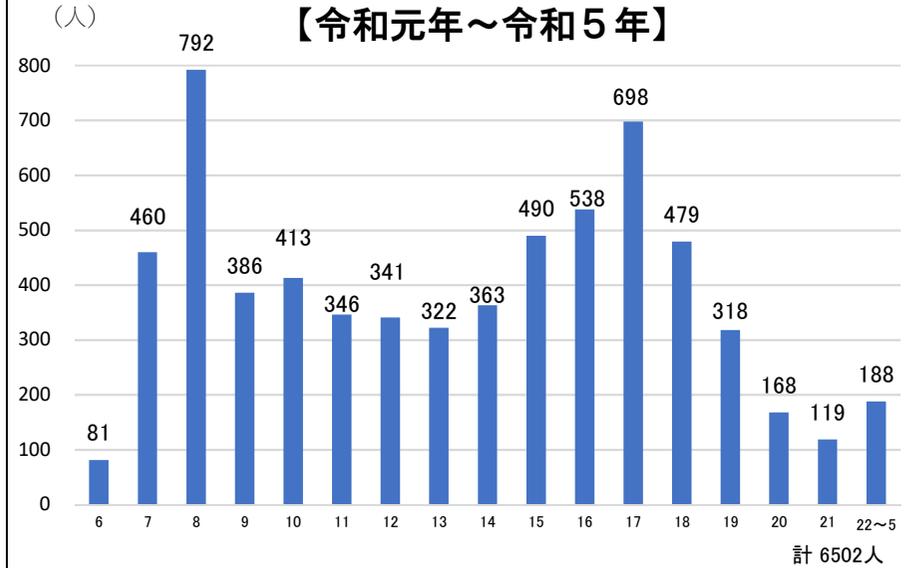
- 自転車死傷者は10歳代が突出して多い。
- 時間帯別では8時台、目的別では買物が最も多い。

自転車死傷者数の推移
【平成26年から令和5年】

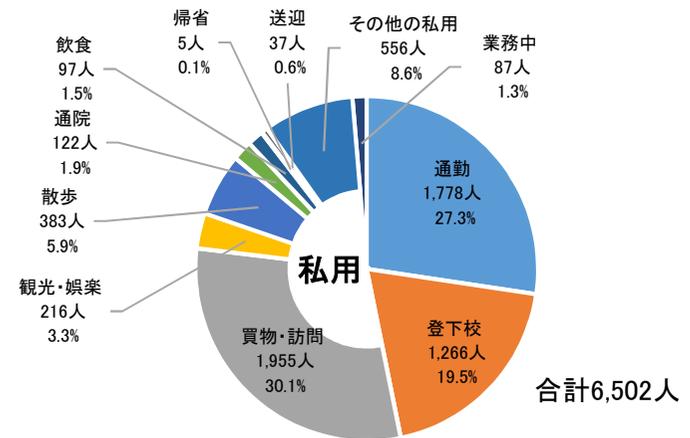


	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5
1~9歳	71	91	79	89	58	49	63	53	36	41
10代	548	476	452	442	444	429	363	397	365	466
20代	327	316	243	236	232	246	185	188	197	190
30代	235	194	165	154	161	173	137	169	168	163
40代	176	183	163	146	144	147	142	136	127	136
50代	142	132	123	119	105	115	115	105	124	113
60~64歳	84	72	55	61	51	37	35	43	51	52
65歳以上	273	291	226	213	229	218	183	191	180	174
合計	1,856	1,755	1,506	1,460	1,424	1,414	1,223	1,282	1,248	1,335

時間帯別自転車乗車中の死傷者数
【令和元年~令和5年】



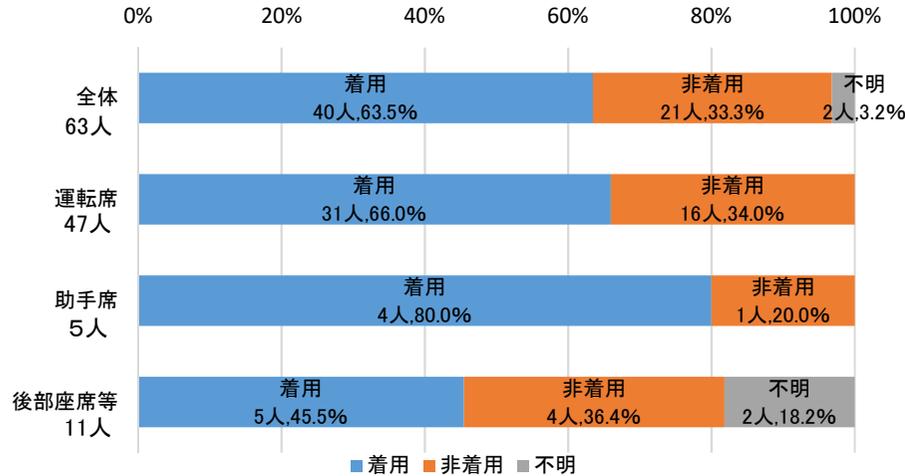
通行目的別自転車乗車中の死傷者数
【令和元年~令和5年】



4 自動車関連交通事故の状況

- 自動車乗車中死者の3割以上がシートベルト非着用(シートベルト非着用時の致死率は約6.9倍)
- 携帯電話等使用による事故は近年増加傾向(携帯電話等使用時の死亡事故率は約6.2倍)

自動車乗車中死者の座席別シートベルト着用率【令和5年】



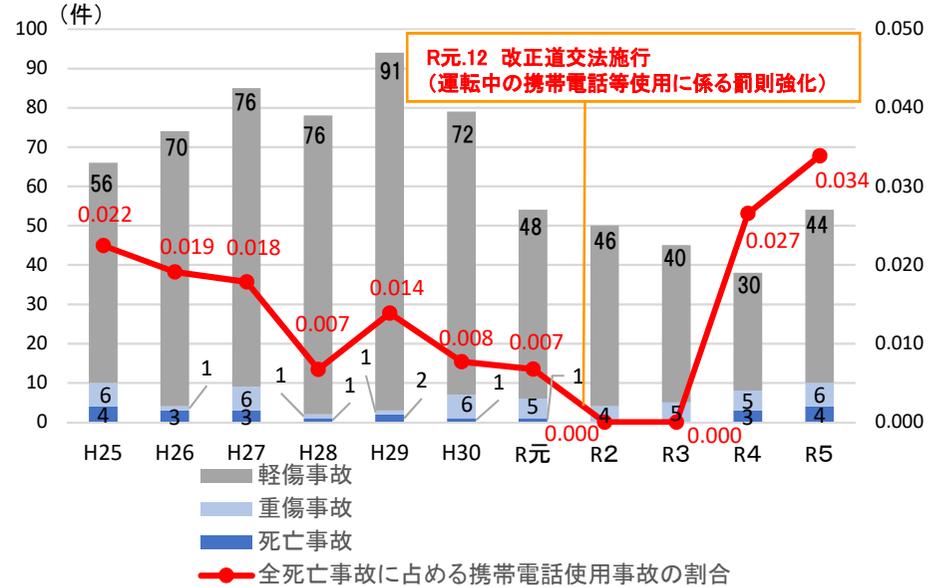
(注) ・「シートベルト着用率」とは、自動車乗車中死者のうちシートベルト着用者及びチャイルドシート使用者の割合をいう。

自動車乗車中のシートベルト使用別致死率比較【令和5年】



(注) ・「致死率」とは、死傷者のうち死者の占める割合をいう。

携帯電話等使用による死亡・負傷事故件数の推移 (件)



(注) ・第1当事者が自動車(乗用車、貨物車、特殊車)の件数である。
・携帯電話・スマートフォンの使用が要因となって発生した事故を集計した。

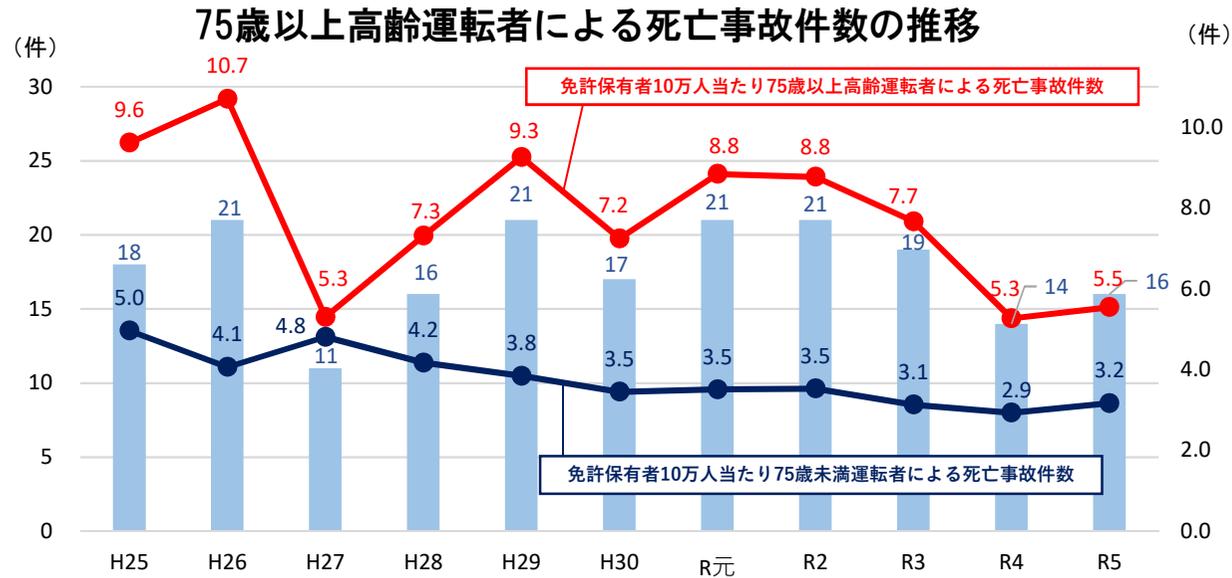
携帯電話等使用有無別死亡事故率比較【令和5年】



(注) ・第1当事者が自動車(乗用車、貨物車、特殊車)の事故に占める死亡事故の割合(死亡事故率)について、携帯電話・スマートフォンの使用が要因となって発生した事故とそれ以外の事故を比較したもの。
・警察庁資料による。

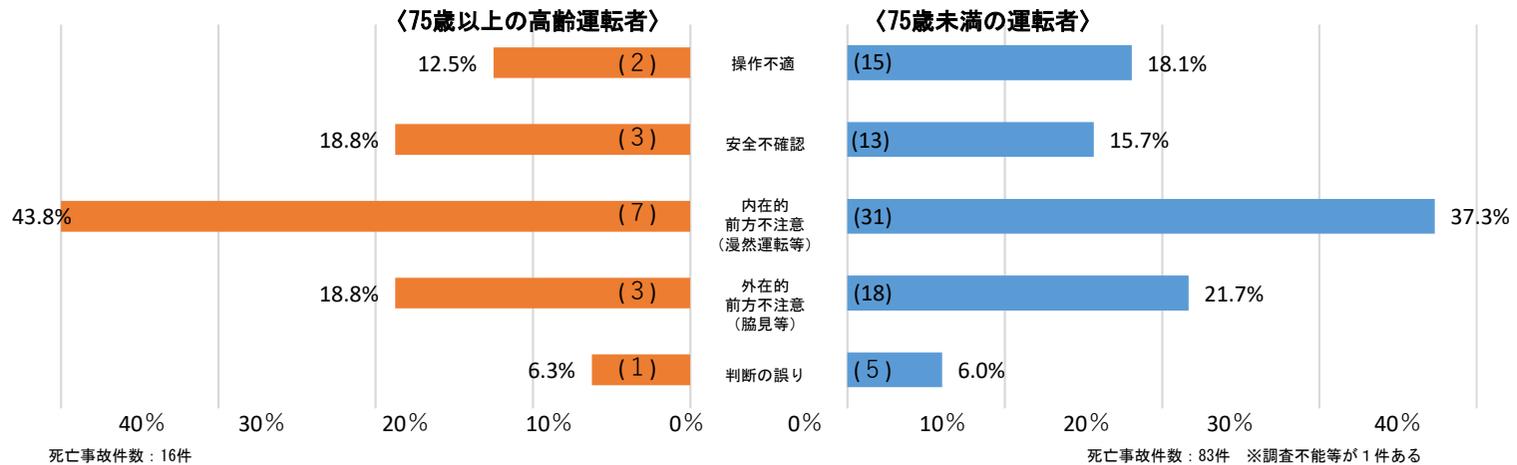
5 高齢運転者による交通死亡事故件数の推移

● 75歳以上高齢運転者による死亡事故は近年増加傾向(免許人口当たりでは75歳未満の約2倍の発生件数)



(注)・第1当事者が原付以上の件数である。

自動車運転者による年齢層別死亡事故の人的要因比較【令和5年】

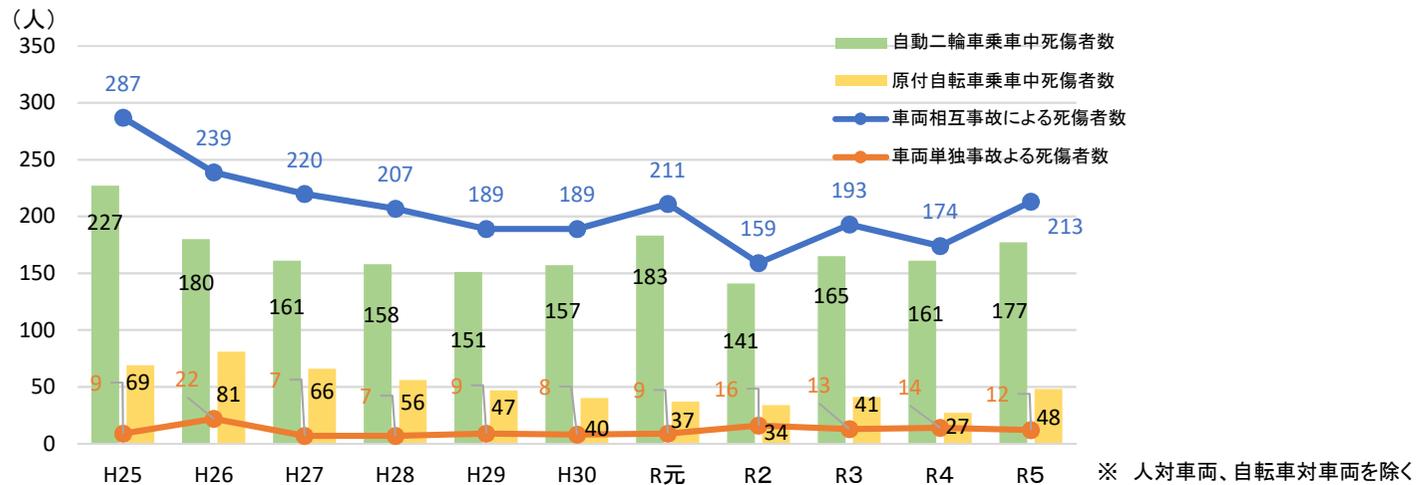


(注)・第1当事者が自動車(乗用車、貨物車、特殊車)の件数である。・運転者の年齢が16歳以上の事故について集計した。

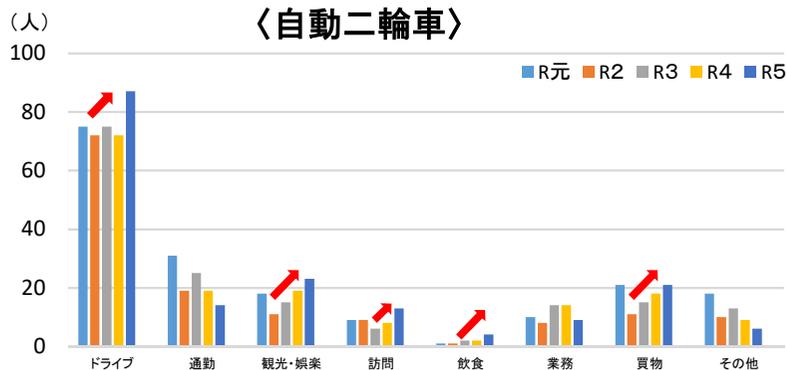
6 二輪車乗車中死傷者数の状況

- 自動二輪車、原付自転車ともに死傷者数が増加（車両相互事故による死傷者が大きく増加）
- 自動二輪車では「ドライブ」、「観光・娯楽」等が増加、原付自転車では「通勤」、「業務」等が増加

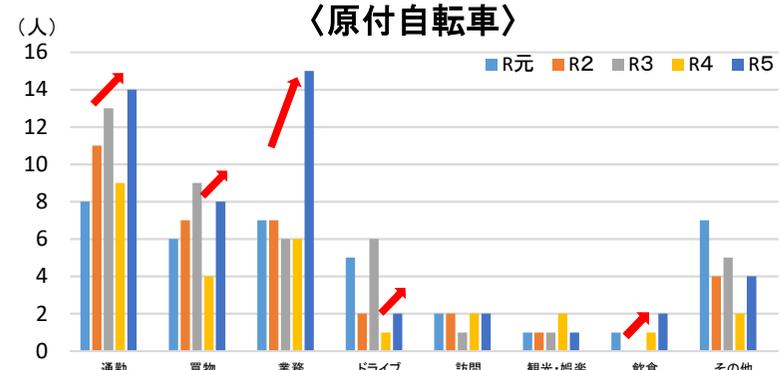
状態別事故類型別二輪車乗車中死傷者数の推移



通行目的別二輪車乗車中死傷者数【令和元年～令和5年】



	ドライブ	通勤	観光・娯楽	訪問	飲食	業務	買物	その他
R元	75	31	18	9	1	10	21	18
R2	72	19	11	9	1	8	11	10
対前年増減率	-4.0	-38.7	-38.9	0.0	0.0	-20.0	-47.6	-44.4
R3	75	25	15	6	2	14	15	13
対前年増減率	4.2	31.6	36.4	-33.3	100.0	75.0	36.4	30.0
R4	72	19	19	8	2	14	18	9
対前年増減率	-4.0	-24.0	26.7	33.3	0.0	0.0	20.0	-30.8
R5	87	14	23	13	4	9	21	6
対前年増減率	20.8	-26.3	21.1	62.5	100.0	-35.7	16.7	-33.3

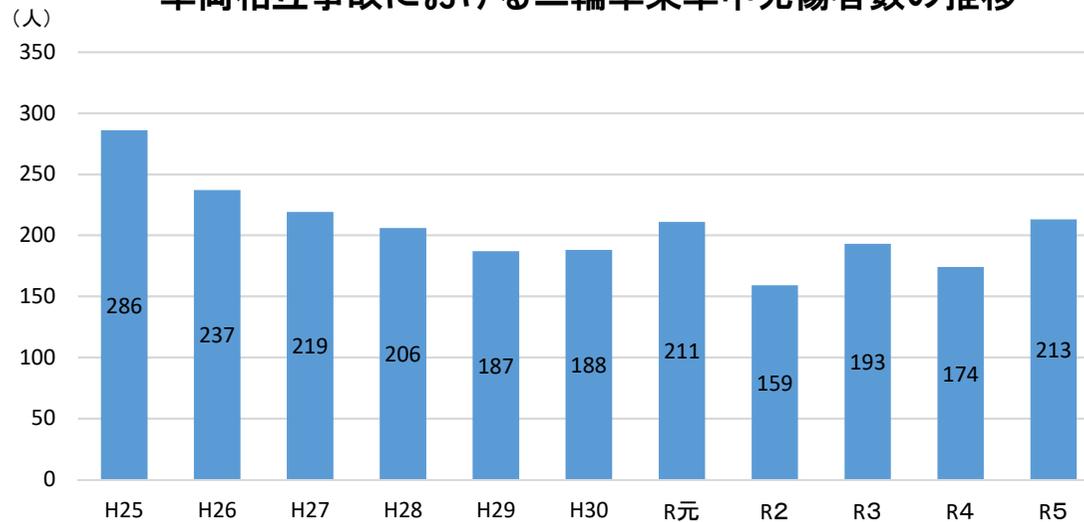


	通勤	買物	業務	ドライブ	訪問	観光・娯楽	飲食	その他
R元	8	6	7	5	2	1	1	7
R2	11	7	7	2	2	1	0	4
対前年増減率	37.5	16.7	0.0	-60.0	0.0	0.0	-100.0	-42.9
R3	13	9	6	6	1	1	0	5
対前年増減率	18.2	28.6	-14.3	200.0	-50.0	0.0	—	25.0
R4	9	4	6	1	2	2	1	2
対前年増減率	-30.8	-55.6	0.0	-83.3	100.0	100.0	—	-60.0
R5	14	8	15	2	2	1	2	4
対前年増減率	55.6	100.0	150.0	100.0	0.0	-50.0	100.0	100.0

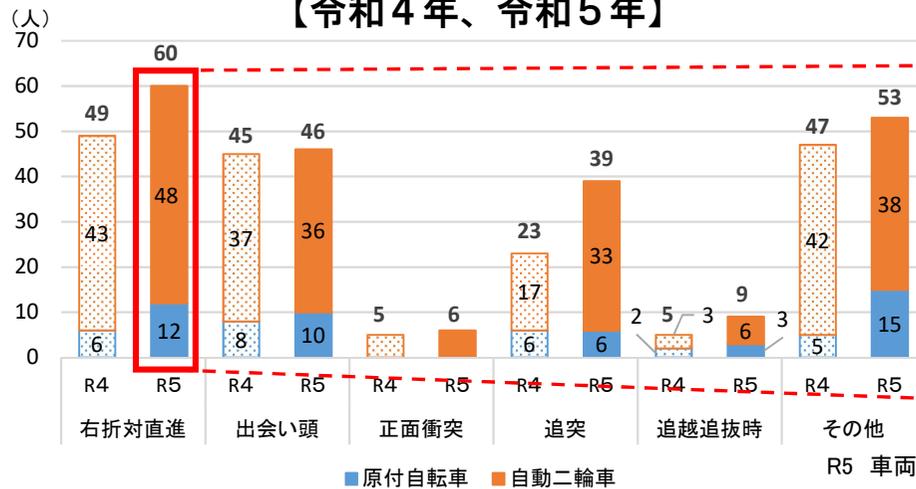
6-2 二輪車乗車中死傷者数の状況

- 車両相互事故における二輪乗車中死者は前年と比較して増加
- 事故類型別では「右折対直進」の事故が最も多い(うち9割以上で二輪車側が直進)

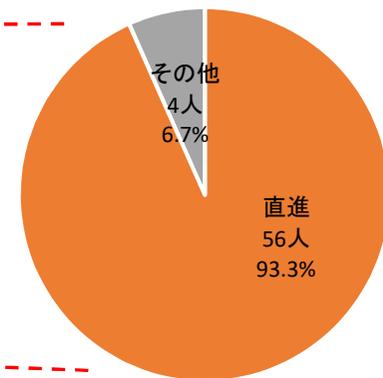
車両相互事故における二輪車乗車中死傷者数の推移



車両相互事故による二輪車乗車中死傷者の事故類型内訳【令和4年、令和5年】



〈右折対直進事故における二輪車の行動類型〉



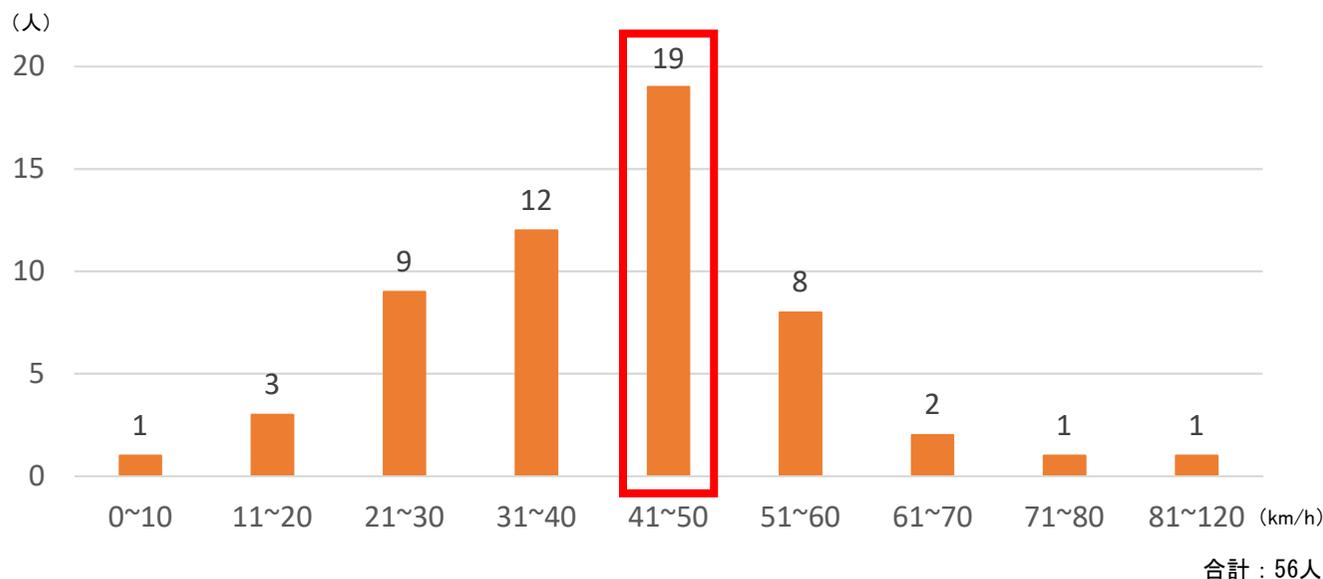
計 60人

R5 車両相互事故による死傷者 計 213人

6-3 二輪車乗車中死者数の状況

- 直進車の二輪車は、41～50km/hが最も多い
- 直進車、右折車ともに焦らず、ゆとりを持った運転を心掛けることが重要

右折対直進事故における直進車側の危険認知速度比較【令和5年】



(注)・右折対直進事故の直進車を対象者とした。

ポイント

直進する二輪車が気をつけること

- ・ 速度超過をせず、危険が発生した場合でも安全に停止できるよう心掛けることが重要！
- ・ 対向車が右折してくるかもしれないという危険を予測した運転を心掛けることが重要！



ポイント

右折する車両が気をつけること

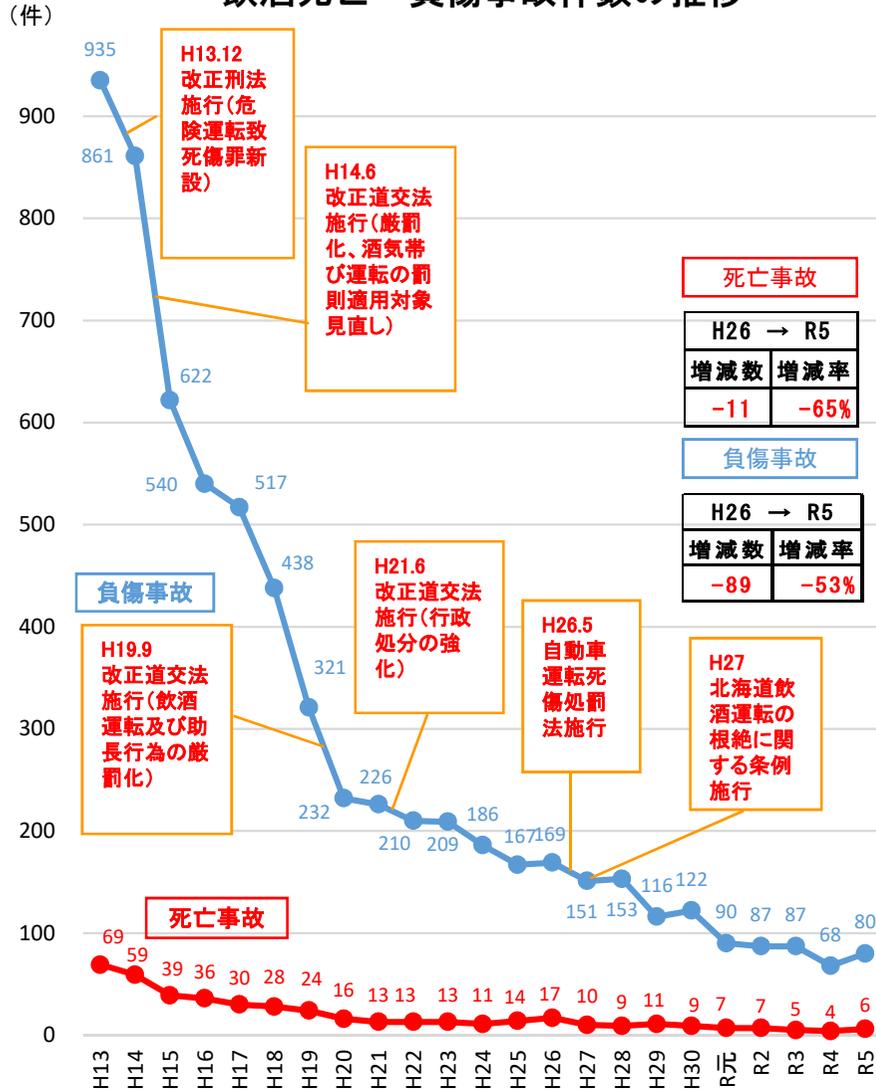
- ・ 二輪車は、実際より遠くに感じられるため、二輪車との正しい距離を把握することが重要！
- ・ 対向車両の死角から後続の二輪車が走行してくるかもしれないという危険を予測した運転を心掛けることが重要！



7 飲酒運転による交通事故の状況

- 飲酒運転による死亡事故、負傷事故ともに増加 ● 通行目的は「通勤」、「買物」などが増加
- 飲酒事故における死亡事故率は飲酒事故以外と比較して約5.8倍

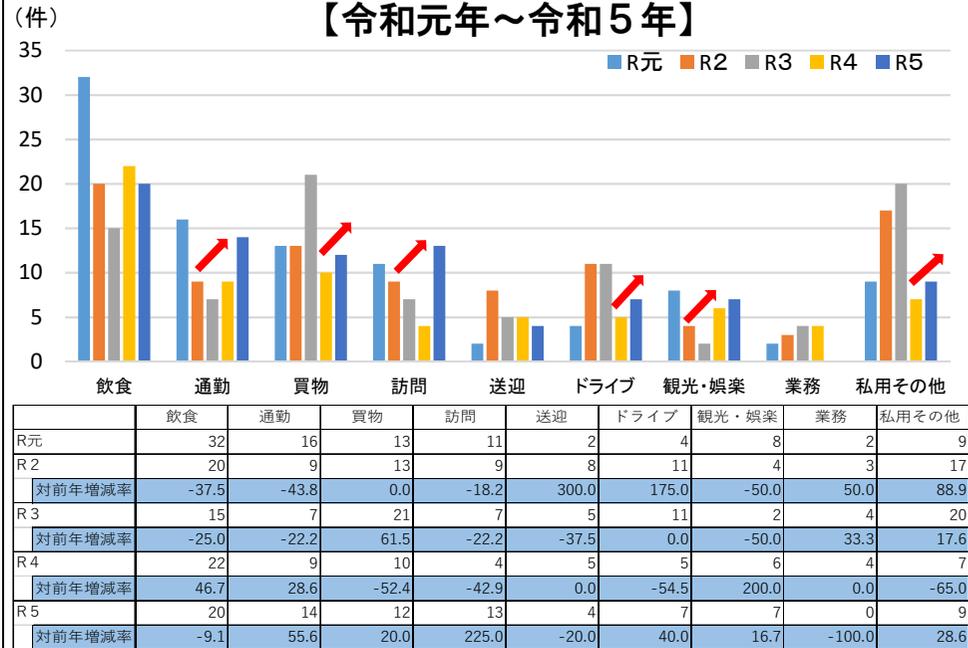
飲酒死亡・負傷事故件数の推移



死亡事故	
H26 → R5	
増減数	増減率
-11	-65%

負傷事故	
H26 → R5	
増減数	増減率
-89	-53%

通行目的別飲酒死亡・負傷事故件数【令和元年～令和5年】



飲酒有無別死亡事故率比較【令和5年】

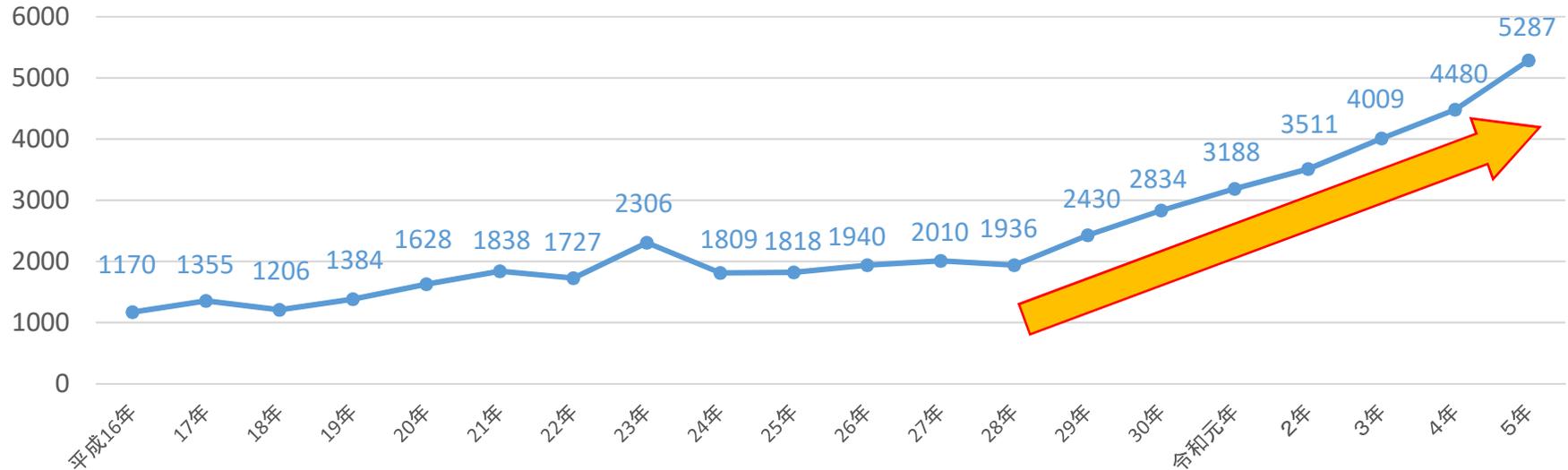


(注) ・ 第1当事者が原付以上の件数である。
 ・ 通行目的は、その目的を果たして帰る途中(復路)であっても、他に目的がない場合は往路の目的となる。
 ・ 「死亡事故率」とは、第1当事者が原付以上の交通事故件数に占める死亡事故件数の割合をいう。

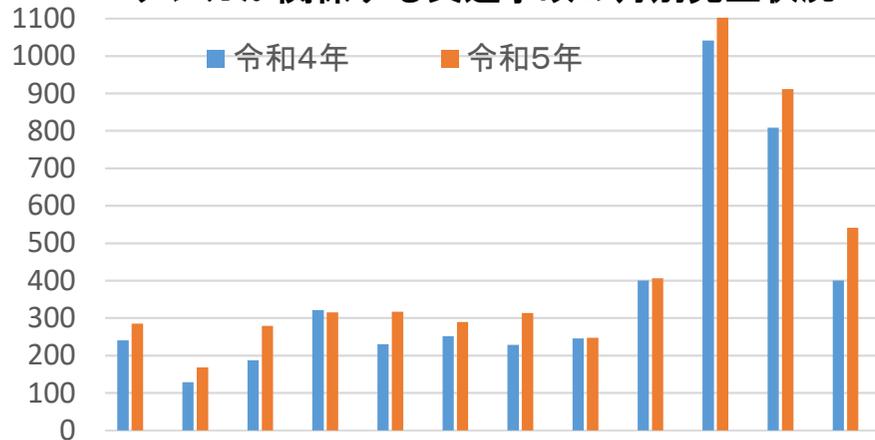
8 エゾシカが関係する交通事故の推移

- エゾシカが関係する交通事故の件数は年々増加し、平成16年から約352%増加している。

エゾシカが関係する交通事故の年別発生状況

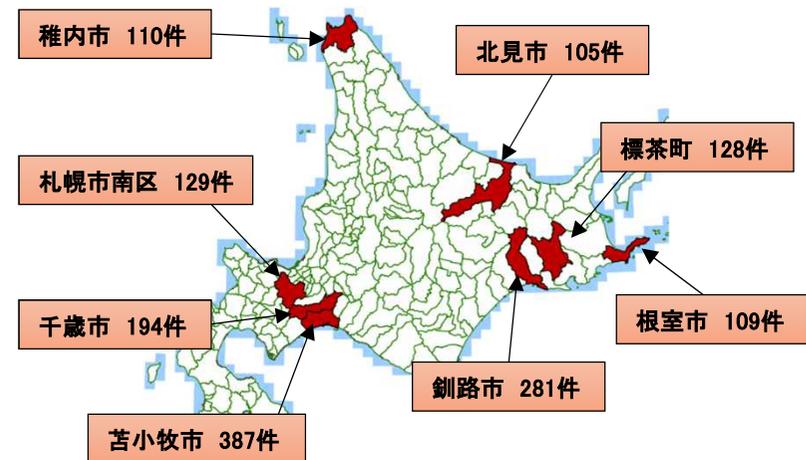


エゾシカが関係する交通事故の月別発生状況



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
R4	240	129	187	321	230	251	228	245	400	1041	808	400
R5	285	168	279	315	317	289	313	247	406	1216	911	541
対前年増減	18.8	30.2	49.2	-1.9	37.8	15.1	37.3	0.8	1.5	16.8	12.7	35.3

令和5年エゾシカが関係する交通事故多発市区町村（100件以上）



(注)・令和4年は令和5年1月24日出力、令和5年は令和6年1月25日出力

(注)・エゾシカが関係する事故の件数は物件事故と人身事故の合計件数